

Sigma Guitar School



# ギタークリスマスコンサート



2019年 **12** 月 **15** 日 (日) **大田文化の森ホール**

**13:00 開演 (12:30 開場) 入場無料**



主催：シグマギタースクール (03-3761-6719)

後援：日本ギター合奏連盟

- ※演奏中の出入りはできるだけご遠慮ください。
- ※演奏中に小さなお子様が生を出さないようにお願いします。
- ※写真撮影・ビデオ撮影は係員に限らせて頂きます。
- ※座席の移動は休憩中をお願いします。
- ※お席を離れる際に、貴重品は置かないようにしてください。





## Merry Christmas!

本日はギタークリスマスコンサートにご来場くださりまして、誠にありがとうございます。シグマギタースクールは平成2年に誕生しましたので、令和元年となる今年で30年という歳月を経ました。今年9月に行った発表会は第30回となり、次のステップに向けて活動しています。

クリスマスコンサートは2016年から毎年開催していますが、12月はホール抽選が激戦で、日程や会場はなかなか希望通りには参りません。しかし何と今年は神のご加護でもあったのでしょうか、強く希望していたここ大田文化の森ホールで開催することができました。御来場の皆さまに音楽というクリスマスプレゼントをお贈りできますよう、準備を進めてまいりました。

本日は3部構成です。**第1部**はザ・ステアの演奏を中心に、独奏、ラ・シエスタ、JOYS Guitar Trioの演奏をお楽しみください。**第2部**は二人のゲストをメインに、ステアトリオ、SS7、ステアクインテットの重奏を用意しています。**第3部**ではヴィンテージ、プリマヴェーラ、ザ・ステアの3つの合奏団がそれぞれの味を出す演目を用意しています。また、第3部の最後には全出演者が〈聖夜〉を歌います。ぜひ一緒に歌ってください。

ご来場くださいました皆様方の思い出に残るクリスマスコンサートになれば何よりです。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。また、今日のコンサートに向けてよく頑張った出演者各位に敬意を表します。さらに、出演者のご家族や関係者には幾多のご負担をおかけしたことと思います。そのご理解とご協力にこの場を借りて心よりお礼申し上げます。



2019年12月15日

シグマギタースクール  
加藤繁雄

## 【第1部】13 : 00

### 1. ザ・ステア (1988年結成 団長：松井謙治)



原 静雄・伏見晃司・三巻 弘・金山茂弘・鳥養雅敏・下村次郎・太田登希子・田中孝子・松井謙治・鶴田至道<sup>のりみち</sup>・加藤繁雄

#### ★4台のチェンバロ協奏曲 BWV1065 より第1楽章・第3楽章 (J.S.バッハ～加藤編)

大バッハ (Johann Sebastian Bach) は1685年3月31日 (ユリウス暦3月21日) にアイゼナハで誕生し、1750年7月28日にライプツィヒで世を去った音楽史上もっとも偉大な作曲家です (享年65歳)。バロック音楽の最高峰であり、作品数は『新バッハ全集』で1120に達しています。余談ですが、ザ・ステアが1996年に本郷のバリオホールで行ったバッハのヴァイオリン協奏曲全曲演奏ビデオは演奏者の宝物になっています。(YouTubeにもUp!)

BWV1065は1731年、ライプツィヒ時代に書かれた作品で、バッハのチェンバロ協奏曲では唯一のチェンバロ4台用の曲です。原曲はヴィヴァルディの〈4つのヴァイオリンとチェロ、弦楽合奏と通奏低音のための協奏曲〉(ヴァイオリン協奏曲集『調和の靈感』Op.3-10)です。

### 2. 独奏：伏見晃司／素朴な歌 (佐藤弘和)、ベネズエラワルツ第3番 (A.ラウロ)

惜しくも50歳の若さで他界したギタリスト・作曲家、佐藤弘和 (1966-2016) さんは青森県弘前市の出身で、下村次郎さん、加藤の遠い後輩にもなります。〈素朴な歌 A Simple Song〉は佐藤弘和ギター作品集『秋のソナチネ』に収められている曲で、福田進一、原 善伸など多くのギタリストに愛奏されています。

アントニオ・ラウロ (Antonio Lauro) (1917-1986) はベネズエラの音楽家で、20世紀の南米作曲家では最も有名な一人です。中でも四つのベネズエラワルツが特に有名です。特に3番 (ナタリア) は、クリオロ・ワルツとしても (その名でセゴビアが録音したため) 有名で、楽譜も何種類もあり、少しずつ違っているようです。3/4と6/8の混合拍子がベネズエラワルツの特徴です。

#### 独奏：加藤繁雄／バーデンジャズ組曲よりシンプリシタス (J.イルマル)

イルジー・イルマル (Jiří Jirmal, 1925-) はチェコの作曲家で、40歳の時に交通事故にあい演奏家を断念しました。その後作曲を志し、現在はブラハ音楽院の教授で、学生たちは国際コンクールで優勝・入賞し、すぐれた指導力を発揮しています。ジャズやサンバ、ボサノヴァといったラテンアメリカ音楽のリズムを取り入れた〈バーデンジャズ組曲〉は1989年に出版され、クラシックギター界に新風を吹き込みました。ブラジルの天才ジャズギタリスト、バーデン・パウエル (1937-2000) に捧げられた作品で、I シンプルシタス II 子守歌、III ロンド・アラ・サンバ の3楽章からなる作品です。中でもボサノヴァの要素を含んだシンプルシタスは人気ナンバーとなっています。

### 3. ラ・シエスタ (2018年結成)



田中孝子・橋本多恵・松田佐知子・加藤繁雄

### ★夜がくる（小林亜星～横山武志編、加藤編）

〈夜がくる〉は、サントリー・オールド（ウイスキー）の商業ソングで、小林亜星（1932-）の作曲です。サントリー・オールドのテレビCMを手がけるに当たって、当時サントリーの宣伝部に所属していた開高 健が考えたキャッチコピーが「人間みな兄弟」で、このコピーからインスピレーションを得て作曲したというエピソードがあります。横山武志さんのアレンジをもとに、シエスタ風に手を加えました。

### ★ワルツ第 2 番（D.ショスターコヴィチ～加藤編）

ドミートリイ・ドミートリエヴィチ・ショスタコヴィチ（Dmitrii Dmitrievich Shostakovich, 1906-1975）は、ソビエト連邦時代の作曲家。交響曲や弦楽四重奏曲が有名で、シベリウス、プロコフィエフと共に、マーラー以降の最大の作曲家です。ショスタコヴィチの音楽には暗く重苦しい雰囲気のある作品が多い中、一方でポピュラー音楽も愛し、ジャズ風の軽妙な作品も残しています。

ワルツ第 2 番はセカンド・ワルツの名前でも良く知られています。出典は〈舞台オーケストラのための組曲〉で、楽譜が発見されるまでは（ジャズ組曲第 2 番）のワルツ第 2 番と誤認されていました。

## 4. JOYS Guitar Trio（2015 年結成） 次郎さんの「J」、共通の「O」、陽子さんの「Y」、繁雄君の「S」で JOYS！



下村次郎・辰野陽子・加藤繁雄

### ★カシオペア（J.M.レーモン）

ジャン＝マリー・レーモン Jean Marie Raymond（1949- ）はフランス北部アミアン生まれで、幼少時をモロッコで過ごしたのちフランスへ帰国しギターを手にとります。パリのエコール・ノルマル音楽院でギターを A.ポンセ、J.イノサ氏に、作曲と指揮法を D.ドンデュイン、Y.デポルテ氏に師事。1971 年アメリカでのコンサートツアーは大成功を収め、1980 年には稲垣 稔（1958-2013）とのデュオを結成、CD／絆 KIZUNA をリリースします。カナダの OZ プロダクションより、叙情あふれるオリジナル作品集が次々発売されています。親しみやすいロマン的な曲を多く作曲し、プロ・アマ問わず幅広い年齢層のギタリストから愛され演奏されています。カシオペアは組曲「星座」のなかの 1 曲で、独奏曲を 3 重奏用にレーモン自身が改編しました。

### ★夏空スケッチ～ I.夕空（林そよか）

林そよか：作曲家・編曲家・ピアニスト。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院音楽音響創造分野修了。同声会賞及び大学院アカンサス音楽賞受賞。大学在学中の 2010 年に自身のアレンジとピアノ演奏による「桜ピアノ」でデビューし、ソロアルバムを日本コロムビアから 8 枚リリース。姉の林はるか（チェロ）とのユニット『アウラ・ヴェーリス』として、2013 年に「イマジニ ～ピアノとチェロのためのジョン・レノン・クラシックス」、2014 年に「愛燦々 ～美空ひばりクラシックス」をリリース。作曲家として、芥川賞作家平野啓一郎氏のベストセラー小説『マチネの終わりに』のタイアップ CD にて、作中に登場する架空の名曲『幸福の硬貨』を書き下ろす。夏空スケッチは 1.夕空、2.夜空、3.朝空の 3 楽章からなり、2018 年に初演。今年 3 月現代ギター社より出版されました。

## 5. ザ・ステア

### ★交響曲第 25 番第 1 楽章（W.A.モーツァルト～加藤編）

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（Wolfgang Amadeus Mozart, 1756-1791）は古典派音楽の代表で、ハイドン、ベートーヴェンと並んでウィーン古典派三大巨匠といわれています。交響曲は 41 番までありますが、25 番と 40 番だけが短調で書かれていて、どちらも短調です。40 番もステアのレパートリーですが、今日は映画アマデウスで有名な 25 番を演奏します。

6. 加藤繁雄、三卷明子 (Cem. 賛助出演)

★序奏とファンダンゴ (L.ボッケリーニ～J.ブリーム編)

ルイジ・ボッケリーニ (Ridolfo Luigi Boccherini, 1743-1805) はイタリアのルッカ生まれの作曲家、チェロ奏者で、同時代のハイドン、モーツァルトに比べて作曲家としてはややマイナーですが、存命中は高名なチェロ演奏家で、チェロの作品も多く書いています。

〈序奏とファンダンゴ〉はボッケリーニが 1798 年に作曲した 13 のギター五重奏曲の第 4 番で、全 4 楽章からなります。そのうち、ゆっくりした第 3 楽章とスペインのファンダンゴのリズムで書かれた第 4 楽章を組み合わせると〈序奏とファンダンゴ〉としてギター 4 重奏、ギター 2 重奏でしばしば演奏されます。今日はジュリアン・ブリーム (1933-) が編曲したギターとチェンバロの 2 重奏を、三卷明子さんと演奏します。

ボッケリーニはドン・ルイス王子の招きにより 1749 年からスペイン宮廷に仕えて以来、終生マドリッドに住んでいました。第 4 楽章はボッケリーニがスペイン音楽の語法を自らの楽曲に取り入れた作品です。



7. ステアトリオ (加藤繁雄・原 静雄・伏見晃司)



★クシコス・ポスト (H.ネッケ～加藤編)

運動会の定番曲である〈クシコス・ポスト〉は、かつて日本では〈クシコスの郵便馬車〉と言っていましたが、クシコスというのは地名でも人名でもなく、馬に乗る人を意味します。ポストは郵便を意味するので、〈クシコス・ポスト〉で郵便馬車ということになります。ドイツの作曲家ヘルマン・ネッケ (Hermann Necke, 1850-1912) の作品ですが、これにカンカンダンスで有名な オッフェンバック (Jacques Offenbach, 1819-1880) の〈天国と地獄〉を接続しました。文明堂のカステラを連想する人は決して若くないはず(^^;

★星空のピアニスト(P.センヌヴィル & O.トゥッサン～加藤編)

“ピアノの貴公子”と呼ばれるリチャード・クレイダーマン (Richard Clayderman, 1953-) のナンバーから〈星空のピアニスト〉を取り上げました。クレイダーマンは 1953 年パリ郊外のロマンヴィルで生まれ、幼少時よりピアノに親しみ 5 歳で作曲を始め、16 歳でコンセルバトワールを首席で卒業し、最終的にポピュラー音楽の道を選びます。デビュー曲は渚のアデリーヌ (Ballade pour Adeline) でした。日本では主婦層を中心に圧倒的な支持を受けています。星空のピアニスト (Lyphard Melody) は 1977 年、2 枚目のアルバムに収録されました。この曲を聴いて満天の星空を思い描いていただけたらシアワセです。

8. SS7 (三巻 弘・田中孝子・千葉由紀・吉田浩二・松井謙治・加藤繁雄)



### ★Fly me to the Moon & Ipanema (B.ハワード、C.ジョビン～加藤編)

〈フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン Fly me to the Moon〉はアメリカのバート・ハワード (Bart Howard、1915-2004) の作品です。この曲の原題は〈In Other Words〉でしたが、歌い出しが「Fly me to the Moon」なので、音楽出版社が曲名を「フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン」に変えました。1962年にジョー・ハーネルが4/4拍子のボサノヴァ風を書き直したものが現在よく知られているアレンジで、1964年にフランク・シナトラがカバーして爆発的なヒットとなりました。〈イパネマの娘〉は言わずと知れたカルロス・ジョビン (Antônio Carlos Jobim、1927-1994) の代表作です。ボサノヴァの創始者でもあり、この2曲を結合しました。お楽しみください。

### ★ポル・ウナ・カベサ (C.ガルデル～平倉信行編)

カルロス・ガルデル (Carlos Gardel、1890-1935) はアルゼンチンのタンゴ歌手で、不世出の名手として知られています。人気の絶頂期に飛行機事故で急逝した事と相まって、現在なおアルゼンチンの国民的英雄としてその地位を不動のものにしています。

ポル・ウナ・カベサ (Por una cabeza) は、ガルデルが作曲したタンゴの一つで、曲名は競馬用語の「首 (ひとつ) の差で」を意味します。1935年の映画「タンゴ・バー」 (Tango bar) の挿入歌として作曲したもので、首の差一つで恋に破れた男心を歌っています。

### ★情熱大陸 (葉加瀬太郎～平倉信行～加藤編)

『情熱大陸』はTBS系列局で毎週日曜日の23:00-23:30に放送されている人間密着ドキュメンタリー番組で、葉加瀬太郎作曲のテーマ曲〈情熱大陸〉は第39回から使われています。ゲストで葉加瀬太郎を取り上げた際に〈Etupirka〉を披露したところ、当時の番組プロデューサーから番組のエンディングとして使いたいとの申し出があり、同時にオープニングも作ってほしいとの依頼を受けました。締め切りまで1週間のスケジュールだったため、当時ライブで披露していた全く異なる2つの曲のAメロとBメロを組み合わせる30秒に収めたのが〈情熱大陸〉誕生のいきさつです。

## 9. ステアクインテット (加藤繁雄・辰野陽子・原 静雄・伏見晃司・下村次郎)



### ★リベルタンゴ (A.ピアソラ～加藤編)

アストル・ピアソラ (Astor Piazzolla、1921-1992) はアルゼンチンの作曲家、バンドネオン奏者で、タンゴを元にクラシック、ジャズの要素を融合させ、独自の演奏形態を産み出しました。〈リベルタンゴ〉は1974年発表の作品です。Libertango は“自由” (libertad) と“タンゴ” (tango) を組み合わせて作った合成語で“自由なタンゴ”という意味になります。ファン・ペロンが大統領に返り咲くようなアルゼンチンの国情に嫌気がさして、イタリアで演奏活動していたときの作品です。祖国アルゼンチンがもっと自由な国になってほしくてこの曲を作ったのでしよう。

ギターでは4重奏のアレンジが広く知られていますが、ステアクインテット用に5重奏でアレンジしました。

## 10. Duo Magica (加藤繁雄、前田 司)

《前田 司》12 歳からギターを始め、現在までに小泉 広、糸山泰弘、北沢重靖、畑内 浩、佐野正隆、加藤繁雄各氏に師事。2002 年第 27 回 GLC 学生ギターコンクール大学生の部第 1 位。2006 年第 18 回日本ギター重奏コンクール第 1 位、同年第 24 回スペインギター音楽コンクール第 1 位。

齊藤泰士・萩野谷英成・多治川純一とクアトロ・パロスとして演奏活動を行い、2015 年 1stCD〈jLeva!〉、2016 年 2ndCD〈Amanecer〉、2018 年 3rdCD『Recuerdos ~佐藤弘和 ギター四重奏作品集』をリリース。芸術集団 2008 所属アーティスト。公益社団法人日本ギター連盟正会員、日本ギタリスト協会委員、日本ギター合奏連盟常任理事。



Duo Magica : 前田の「ma」、guitar の「gi」、加藤の「ca」の 3 文字を取り、マジック（魔法）的な感動と興奮を生もう！ということで命名し、2016 年のクリスマスコンサートでデビューしました。間近にいるギターデュオです。ところでこれ、マジか…!?

### ★アンクラージュマン (F.ソル)

古典ギターの最高峰フェルナンド・ソル (Fernando Sor, 1778-1839) はスペインのバルセロナに生まれ、モンセラート修道院で音楽の基礎を学び、18 歳でオペラを作曲し成功を取めました。ギター弦の本数が未確定の当時、ナポリの名ギタリスト、モレッティの影響で 6 弦ギターが確立し始め、ソルは 6 弦ギターの作品を書き始めています。1813 年専制君主フェルナンド 7 世が王位を回復するとフランスに亡命し、その後イギリス、ロシアなどに渡り、ギター作品のほか色々な器楽曲や歌曲を書いています。1827 年から晩年まで再びパリに住み、ギター教則本や名曲を書き上げ、1837 年故国スペインへの思いを胸に抱きながら舌癌で世を去りました。

アンクラージュマン L'Encouragement Op.34 は「励まし」という意味で、生徒がメロディーを弾き、先生が伴奏する教育的なスタイルで書かれた 2 重奏作品ですが、N.コストの編曲でそれぞれのパートが対等にわり合うスタイルになっています。メロディーが美しいカンタービレのあと、軽快なテーマと変奏が続きます。

## 【第 3 部】15 : 26

## 11. ヴィンテージ (2011 年結成 団長 : 辰野 悟)



三巻 弘・臼田直哉・安田喜久男・辰野 悟・森田文子・横田節子・吉田浩二・鳥養雅敏・豊島定清・小森喜矢太・島村慎一郎・加藤繁雄

### ★ザ・ピーナッツメドレー (宮川 泰、すぎやまこういち～加藤編)

シニア世代には思い出深いザ・ピーナッツのナンバーから〈恋のバカンス〉〈恋のフーガ〉〈シャボン玉ホリデー〉をメドレーで演奏します。この曲と共に過ごされたそれぞれの思い出がよみがえりますよう一生懸命演奏いたしますのでよろしくお願ひ申し上げます。(辰野)

### ★剣のクンバンチエロ (R.エルナンデス、ハチャトゥリアン～加藤編)

エル・クンバンチエロ (El Cumbanchero) は 3,000 曲以上もの楽曲を作曲したプエルトリコの国民的作曲家、ラファエル・エルナンデス (Rafael Hernández Marín, 1892-1965) が 1943 年に作った曲で、特にアメリカ・南米などでヒットしました。エル・クンバンチエロを直訳すると「口の広い盃 (クンバ) をたたく男」となりますが、原語のニュアンスを含めて意訳すると「飲んでお祭り騒ぎをする人」のような感じの意味になります。高校野球の応援曲では定番です。

この曲にハチャトゥリアンの〈剣の舞〉をミックスブレンドしました。〈剣の舞〉は 1942 年に作曲されたバレエ『ガイーン』の最終幕で用いられる楽曲です。この曲はクルド人が剣を持って舞う戦いの踊りを表しています。アラム・イリイチ・ハチャトゥリアン（Aram Il'ich Khachaturian、1903-1978）は、旧ソビエト連邦の作曲家・指揮者で、プロコフィエフ、ショスタコーヴィチと共にソビエト 3 巨匠の一人と称されています。

## 12. プリマヴェーラ（2013 年結成 団長：大野明日子）



大野明日子・所 秀展・友田明文・長谷川菜音（休）・森山幼菜・青沼西子・小林良太・宮治 忠・加藤繁雄

### ★ユーミンメドレー（荒井由実～加藤編）

ジブリの名作『魔女の宅急便』からユーミン（荒井由実）が作曲した〈やさしさに包まれたなら〉と〈ルージュの伝言〉、そしてユーミンの有名なクリスマスソング〈恋人はサンタクロース〉の 3 曲をメドレーにしました。ぜひお楽しみください。

### ★さくらメドレー（いきものがかり、コブクロ、森山直太郎～加藤編）

プリマヴェーラはイタリア語で“春”を意味します。春に結成したので命名しました。春といえば桜なので、さくらメドレーを弾こう！ ということになり、いきものがかりとコブクロ、そして森山直太郎のさくらをメドレーにしました。こちらもぜひご期待ください。

## 13. ザ・ステア

### ★コンドルは飛んでいく（D.A.ロブレス～加藤編）

コンドルは飛んでいく（El Cóndor Pasa）はペルーの作曲家ダニエル・アロミア・ロブレス（Daniel Alomía Robles、1871-1942）がアンデスのフォルクローレをもとに、サルスエラのために〈コンドルは飛んでいく〉を作曲しました。1970 年にサイモン&ガーファンクルによってカバーされ、日本やその他の国々に広く知られるようになりました。曲は 3 部構成となっており、1 部がヤラビと呼ばれるアンデスの寒く乾いた山を連想させるもの悲しい旋律、2 部がフォックス・インカイコまたはパサカージェと呼ばれる行進曲調のリズム、3 部がワイノと呼ばれる華やかな舞曲となっています。本日はこのうちの第 1 部と 3 部、最後に再び 1 部を演奏します。

### ★雪の華（松本良喜～加藤編）

〈雪の華〉は中島美嘉が 2003 年にリリースした 2 枚目のアルバム『LØVE』に収められている曲で、オリコン初登場 1 位となり、発売から 1 ヶ月経たずにミリオンセラーを記録、累計 150 万枚以上を売り上げました。同じ事務所に所属している Satomi（作詞）と松本良喜（作曲）の作品です。このアルバムは韓国でもヒットし、宇多田ヒカルと浜崎あゆみを押さえて同国での J-POP トップ歌手としての地位を固めました。また、今年 2 月 1 日には〈雪の華〉をモチーフに、登坂広臣 & 中条あやみ主演で描く映画『雪の華』が公開されました。

## 14. 聖夜（F.グルーバー～加藤編）

1818 年 12 月 23 日、オーストリアのオーベルンドルフ、聖ニコラウス教会ではクリスマスを直前に控え、大変深刻な問題が発生していました。いつも使っているオルガンの音が出ないのです。その年は大変な飢饉で、飢えたネズミがオルガンの空気袋をかじったと言われています。クリスマスに歌う賛美歌の伴奏ができなくなり、急遽ヨゼフは“Stille Nacht”の詞を書き上げ、グルーバー（Franz Xaver Gruber、1787-1863）にギターで伴奏できる讃美歌を作曲してほしいと頼みました。グルーバーは「教会でギターを弾いても誰も気に入ってもらえないのではないか？」と躊躇していましたが、ヨゼフの説得もあって曲をつけることを了承しました。グルーバーは一晚中懸命に考え続け、ついにこの曲を完成させたのです。曲が完成したのは教会でミサが始まるわずか数時間前のことでした。このシンプルで美しいメロディーは人々の心に染み込み、涙を流して感動したという逸話が残っています。そして世界中にその曲は広まり、クリスマスには世界中で歌われるようになりました。ギターの持つ柔らかい響きが人々の琴線に触れたのだと思います。その歌を作ったと言われている教会が、今もザルツブルク州のオーベルンドルフ・バイ・ザルツブルクに残っているそうです。

ザ・ステアの伴奏で全出演者が歌います。皆様も一緒にどうぞ。

# 聖夜

～きよしこの夜～

J. モーレル 作詞  
F. グルーバー 作曲  
加藤繁雄 編曲

歌

きよしこのよるほしは  
きよしこのよるほしは

ギター

A A E7

4

ひかりしすくいのこは  
ひかりしすくいのこは

ギター

A D A

7

みはのむまねにねむりたき  
みはのむまねにねむりたき

ギター

D A E7

10

もうゆめやすくて  
もうゆめやすくて

ギター

A A E7 A

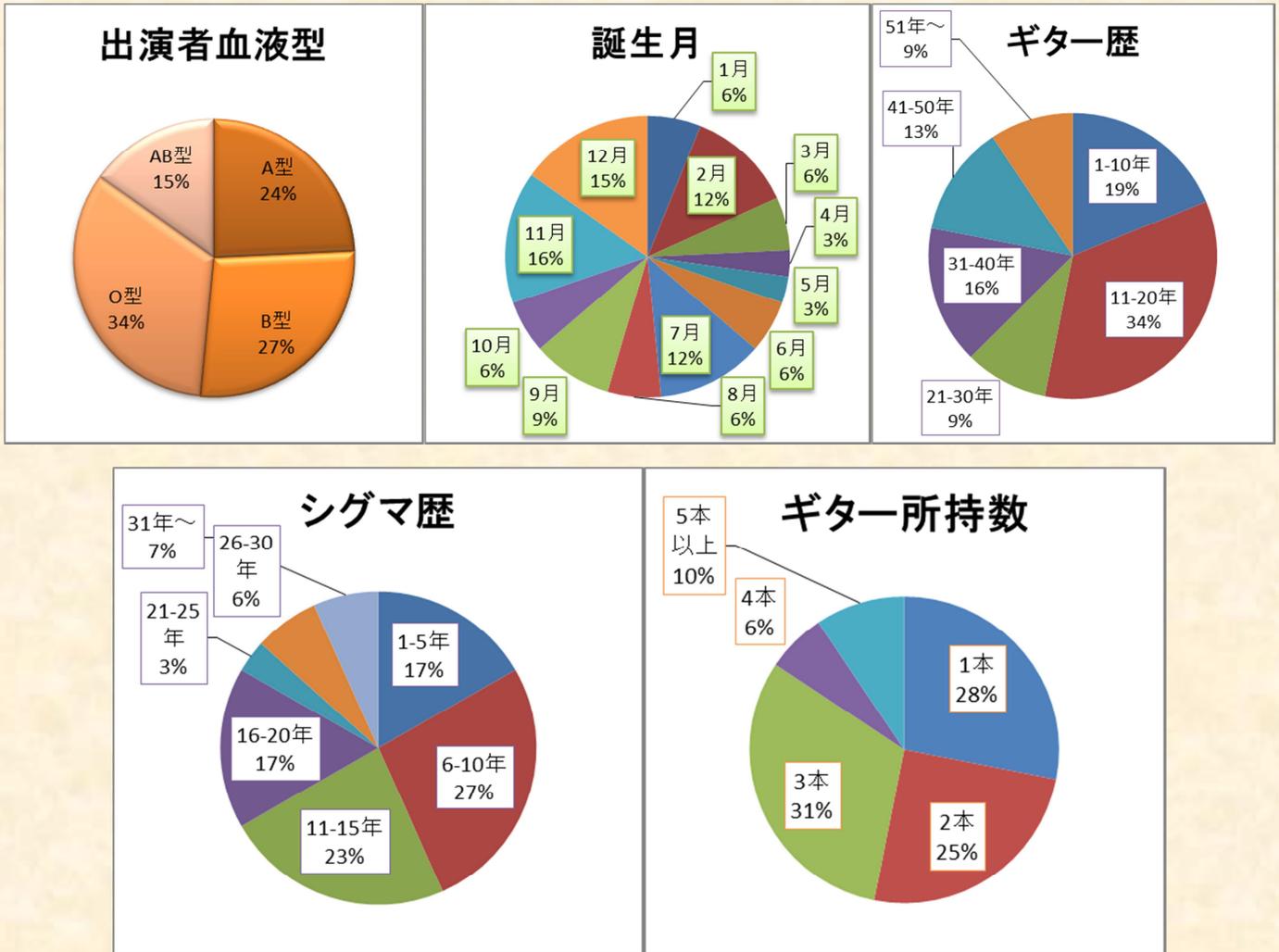
## 出演者アンケート

氏名	①血液型 ②誕生日 ③ギター歴 ④シグマ歴 ⑤ギター所持数 ⑥好きな曲 ⑦弾きたい曲 ⑧自分を動物に例えると何？	
 原 静雄	①O型 ②11月 ③45年 ④33年 ⑤3本 ⑥クラシック ⑦2重奏 ⑧原人	 伏見晃司           ①B型 ②11月 ③36年 ④26年 ⑤2本 ⑥ブエノスアイレスの冬 (ピアソラ) コユンババ (ドメニコニ) ⑦序奏とロンド (アグアド) ⑧眠そうな熊
 三巻 弘	①O型 ②12月 ③8年 ④8年 ⑤2本 ⑥グラナダ (アルベニス) ⑦ソル・20 のエチュード全曲 ⑧ポノボ	 金山茂弘           ①O型 ②2月 ③49年 ④27年 ⑤4本 ⑥ベネズエラワルツ第3番 (ラウロ) ⑦魔笛の主題と変奏 (ソル) ⑧リス
 鳥養雅敏	①O型 ②8月 ③40年 ④2年 ⑤3本 ⑥エチュード Op.6-11 (ソル) ⑦リュート組曲第1番 BWV996 (バッハ) ⑧オランウータン	 下村次郎           ①O型 ②1月 ③14年 ④5年 ⑤2本 ⑥バッハの色々 ⑦バッハ ⑧日本犬
 太田登希子	①O型 ②7月 ③23年 ④16年 ⑤3本 ⑥ファンタジー (ヴァイス) ⑦大聖堂 (パリオス) ⑧尺取り虫	 田中孝子           ①A型 ②3月 ③22年 ④6年 ⑤3本 ⑥モルダウ (スメタナ) ⑦二筋の川 (パコ・デルシア) ⑧モモンガ (夜行性)
 鶴田至道	①B型 ②2月 ③35年 ④35年 ⑤3本 ⑥バッハ ⑦バッハ ⑧掃き溜めに鶴	 松井謙治           ①B型 ②10月 ③16年 ④16年 ⑤1本 ⑥モーツァルト、Mr. Children ⑦スピッツ ⑧ミーアキャット
 大野明日子	①O型 ②10月 ③12年 ④12年 ⑤1本 ⑥タイスの瞑想曲 (マスネ) ⑦アランプラの思い出 (タレガ) ⑧ナマケモノ	 所 秀展           ①AB型 ②11月 ③19年 ④19年 ⑤1本 ⑥歌うたいのバラッド (斉藤和義) ⑦Tears in Heaven (クラブトン) ⑧ラクダ
 友田明文	①AB型 ②2月 ③14年 ④14年 ⑤1本 ⑥明日へ (SISHAMO) ⑦Waltz for Debby (ビル・エヴァン ス) ⑧熊	 森山幼菜           ①B型 ②5月 ③11年 ④10年 ⑤1本 ⑥やさしさに包まれたなら (ユーミン) ⑦祖父が好きな演歌 ⑧カピバラ



 ①A型 ②12月 ⑧白鳥 (になりたい) 三巻明子	 ①B型 ②4月 ③27年 ⑤5本 ⑧ナマケモノ 前田 司
 ①A型 ②11月 ③50年 ④38年 ⑤8本 ⑧ミミズク 加藤繁雄	〈楽器紹介〉 ・プライムギター 普通のギターを合奏で言う呼称 ・ソプラノギター プライムギターより1 オクターブ高い ・アルトギター プライムギターより完全 5 度高い ・レキントギター プライムギターより完全 4 度高い ・バスギター プライムギターより完全 4 度低い

アンケート集計



Σ シグマギタースクール 生徒募集中!!!

ギターが弾けたらいいなあ……と思ったらお電話ください  
 初歩からていねいに指導します

クラシック・アコースティック・エレキ・ベース・アンサンブル・コード理論

JR 大森駅東口徒歩 3分 ミルパ商店街内 (11:00-22:00)

〒143-0016 東京都大田区大森北 1-35-1 増尾ビル 3階

TEL&FAX : 03-3761-6719 kato@sigumaguitar.com

http://www.sigumaguitar.com/ YouTube 加藤繁雄 ⇒検索